

県内企業の景況意識調査

(第184回)

* 2023年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み
* 2023年 4～6月期〈Ⅱ期〉の見通し

2期ぶりに悪化

今期（2023年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、前期比8.0ポイント減少の▲8.5となった。業種別のBSIは『金融・不動産業』『運輸業』の2業種で改善し、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『サービス業』の4業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。物価上昇で需要が落ち込んでいることや、仕入価格高騰で企業収益が悪化したことが主な要因となっている。

来期（2023年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、今期比6.7ポイント減少の▲15.2となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『金融・不動産業』の2業種で改善、『運輸業』は今期と同水準、『建設業』『卸・小売業』『サービス業』の3業種で悪化する見通しである。

来期は、建設業で業況判断BSIの大幅な減少が見込まれ、全体の業況判断BSIも悪化する見通し。

* 2023年 1～3月期〈Ⅰ期〉の実績見込み

製 造 業……………3期ぶりに悪化

卸・小売業……………卸売業・小売業ともに悪化

建 設 業……………前期とほぼ同水準

サービス業……………4期ぶりのマイナス水準

2 期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2023年1～3月期〈I期〉)

業況判断BSI：▲ 8.5 (前期比▲ 8.0㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 14.0% (前期比▲ 4.3㊦)
- ・悪くなった 22.5% (前期比+ 3.7㊦)
- ・変わらない 63.5% (前期比+ 0.7㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：2業種 (『金融・不動産業』
『運輸業』)
- ・前期比悪化：4業種 (『建設業』『製造業』
『卸・小売業』『サービス業』)

今期の業況判断BSIは2期ぶりの悪化となった。物価上昇で需要が落ち込んでいることや、仕入価格高騰で企業収益が悪化したことが主な要因となっている。

来期は、建設業で業況判断BSIの大幅な減少が見込まれ、全体の業況判断BSIも悪化する見通し。

【来期】(2023年4～6月期〈II期〉)

業況判断BSI：▲15.2 (今期比▲ 6.7㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 11.9% (今期比▲ 2.1㊦)
- ・悪くなる 27.1% (今期比+ 4.6㊦)
- ・変わらない 61.0% (今期比▲ 2.5㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種 (『製造業』『金融・不動産業』)
- ・今期比悪化：3業種 (『建設業』『卸・小売業』
『サービス業』)
- ・今期比不変：1業種 (『運輸業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 7.3 (前期比▲18.8㊦)

6業種で悪化

収益BSI：▲15.7 (前期比▲12.5㊦)

4業種で悪化

【来期】

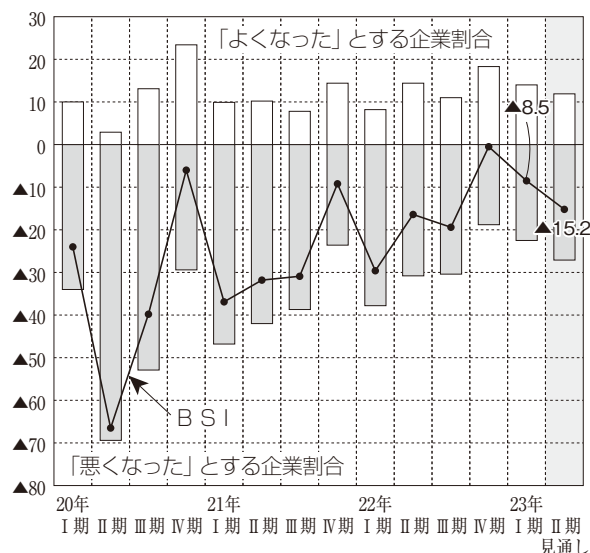
売上高BSI：▲ 6.8 (今期比+ 0.5㊦)

4業種で改善見通し

収益BSI：▲19.7 (今期比▲ 4.0㊦)

3業種で悪化見通し

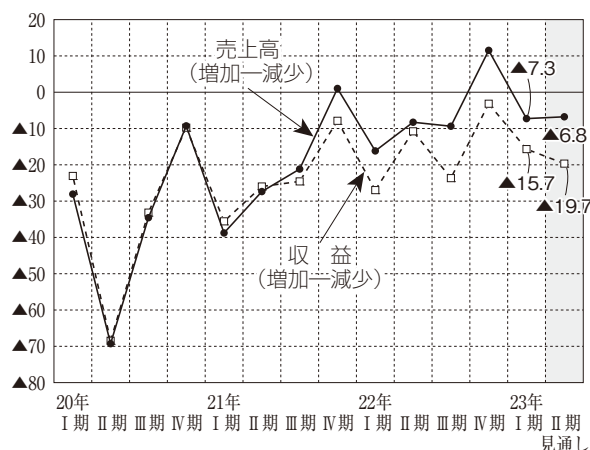
業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

	2022年 III期	2022年 IV期	2023年 I期	2023年 II期見通し
建 設 業	▲28.0	▲ 7.7	▲ 8.0	▲52.0
製 造 業	▲15.1	5.9	▲ 7.1	▲ 3.6
卸・小売業	▲40.4	▲ 9.1	▲15.9	▲25.0
金融・不動産業	▲11.1	▲42.9	▲25.0	0.0
運 輸 業	▲16.6	▲16.7	9.1	9.1
サービ業	6.4	18.2	▲ 3.0	▲ 6.0
全 産 業	▲19.4	▲ 0.5	▲ 8.5	▲15.2

売上高と収益 (BSI)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 6.3 (前期比▲10.5ポイント)
4 業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲40.7 (前期比+ 5.9ポイント)
4 業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 2.8 (今期比+ 3.5ポイント)

◎経営上の問題点

- 1 位 : 「原材料仕入価格高騰」(31.8%)
- 2 位 : 「売上不振」(27.1%)
- 3 位 : 「人手不足」(18.8%)
- 4 位 : 「人材不足」(10.6%)
- 5 位 : 「人件費増」(3.5%)

業種別にみると、「原材料仕入価格高騰」と回答した割合は、『製造業』が44.4%と特に高い。「売上不振」は『金融・不動産業』で37.5%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合 : 36.5% (前期比▲ 0.3ポイント)
2 業種で減少

＜投資目的＞

- 1 位 : 「補修・更新」(76.6%)
- 2 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(12.5%)
- 3 位 : 「合理化・省力化」(6.3%)

【来期】

実施予定企業の割合 : 37.6% (今期比+ 1.1ポイント)
3 業種で増加見通し

＜投資目的＞

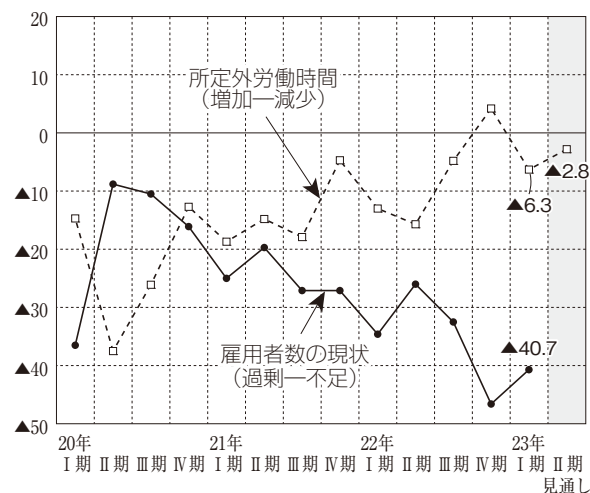
- 1 位 : 「補修・更新」(65.6%)
- 2 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(15.6%)
- 3 位 : 「合理化・省力化」(7.8%)

◎「令和5年度(2023年度)の採用予定」について

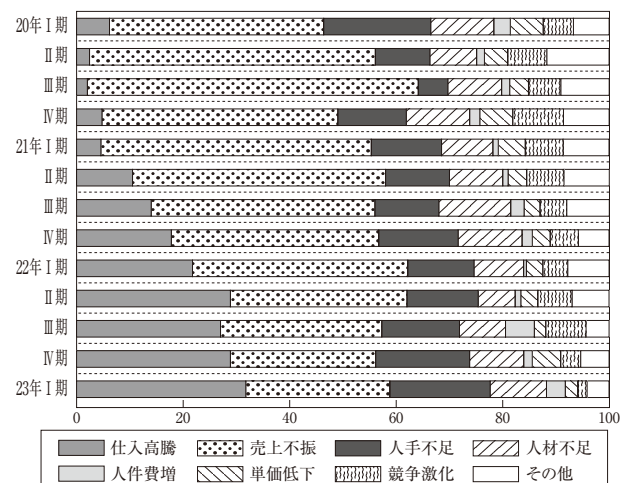
今回の調査において、「令和5年度(2023年度)の採用予定」について尋ねたところ、「新規卒業者を採用する」が36.0%、「中途採用を予定している」が24.2%、「採用しない」が21.9%、「未定」が18.5%となった。

1年前の「令和4年度(2022年度)の採用予定」についての調査と比較して「中途採用を予定している」が1.4ポイント増加、「未定」が3.8ポイント増加した一方、「新規卒業者を採用する」が0.5ポイント減少、「採用しない」が1.5ポイント減少した。

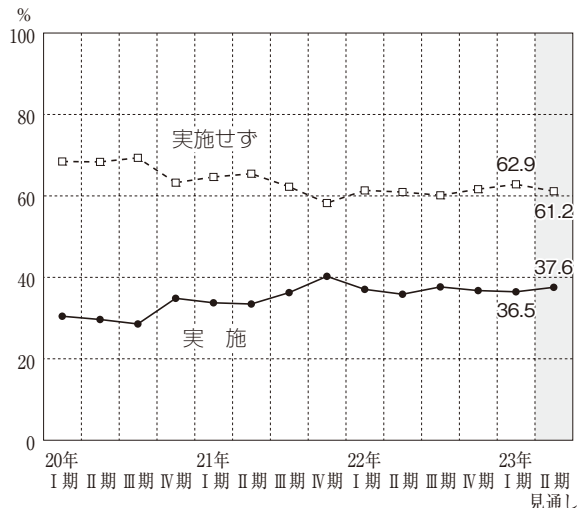
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



3 期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2023年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲ 7.1 (前期比▲13.0㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 17.9% (前期比▲ 5.6㊦)
- ・悪くなった 25.0% (前期比+ 7.4㊦)
- ・変わらない 57.1% (前期比▲ 1.7㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種（「化学・石油」
「印刷・出版」「その他」）
- ・前期比悪化：4業種（「鉄・非鉄・金属」「機械」
「食料品」「木材・家具」）
- ・前期比不変：1業種（「窯業・土石」）

原材料価格高騰の影響から「食料品」が悪化し、全体の業況判断は3期ぶりに悪化した。また、経営上の課題として仕入高騰を挙げる企業の割合は、上昇傾向にある。

【来期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲ 3.6 (今期比+ 3.5㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 18.2% (今期比+ 0.3㊦)
- ・悪くなる 21.8% (今期比▲ 3.2㊦)
- ・変わらない 60.0% (今期比+ 2.9㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：4業種（「食料品」「木材・家具」
「窯業・土石」「その他」）
- ・今期比悪化：2業種（「化学・石油」「機械」）
- ・今期比不変：2業種（「鉄・非鉄・金属」
「印刷・出版」）

部品不足の影響などから「機械」が悪化する見込みである一方、販売価格の値上げによって「食料品」などが改善する見通しであり、来期の業況判断BSIはやや改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：± 0.0 (前期比▲14.5㊦)

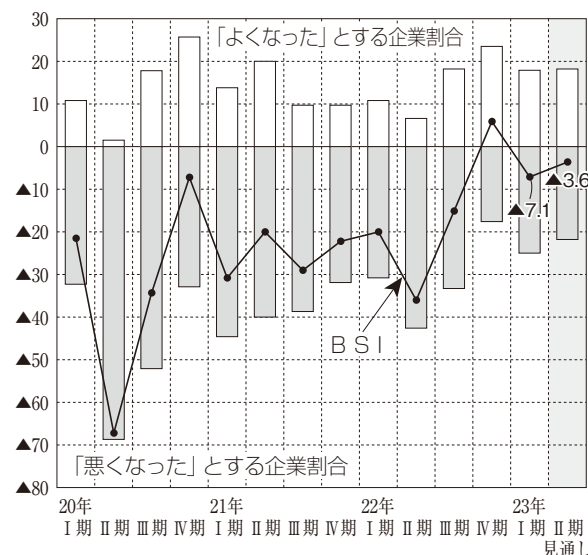
収益BSI：▲16.0 (前期比▲11.6㊦)

【来期】

売上高BSI：+ 1.8 (今期比+ 1.8㊦)

収益BSI：▲20.0 (今期比▲ 4.0㊦)

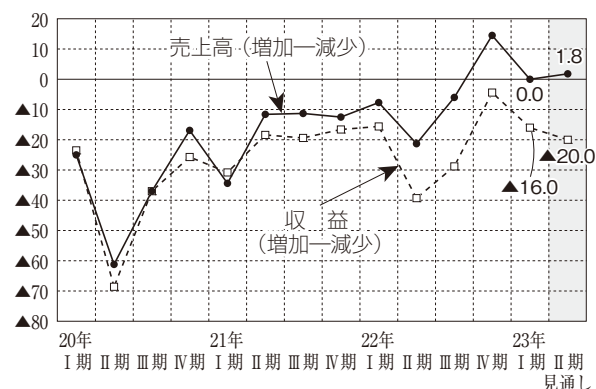
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2022年 Ⅲ期	2022年 Ⅳ期	2023年 Ⅰ期	2023年 Ⅱ期見通し
化学・石油	50.0	0.0	25.0	0.0
鉄・非鉄・金属	0.0	0.0	▲33.3	▲33.3
機 械	5.5	15.0	14.3	▲ 7.1
食 料 品	▲33.3	35.8	0.0	16.6
木材・家具	▲75.0	0.0	▲28.6	0.0
印刷・出版	▲50.0	▲80.0	▲75.0	▲75.0
窯業・土石	▲33.3	▲33.3	▲33.3	0.0
そ の 他	▲12.5	14.3	16.7	33.3
製 造 業	▲15.1	5.9	▲ 7.1	▲ 3.6

売上高と収益 (B S I)



卸売業・小売業ともに悪化

◎業況判断

【今期】(2023年1～3月期〈I期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲10.5（前期比▲10.5㊦）

<内訳>

- ・よくなった 15.8%（前期比▲4.2㊦）
- ・悪くなった 26.3%（前期比+6.3㊦）
- ・変わらない 57.9%（前期比▲2.1㊦）

『小売業』

業況判断BSI：▲20.0（前期比▲3.3㊦）

<内訳>

- ・よくなった 12.0%（前期比▲0.5㊦）
- ・悪くなった 32.0%（前期比+2.8㊦）
- ・変わらない 56.0%（前期比▲2.3㊦）

卸売業、小売業ともに売上高BSI、収益BSIが悪化し、業況判断BSIも悪化した。一部には物価上昇の影響で需要が低迷している企業が見られる。

【来期】(2023年4～6月期〈II期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲5.3（今期比+5.2㊦）

『小売業』

業況判断BSI：▲40.0（今期比▲20.0㊦）

卸売業では改善、小売業では大幅に悪化する見通し。「悪くなる」と回答した企業からは、仕入価格上昇分を価格転嫁できていないとの声があった。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲15.8（前期比▲35.8㊦）

収益BSI：▲21.0（前期比▲6.0㊦）

【来期】

売上高BSI：+5.2（今期比+21.0㊦）

収益BSI：▲10.5（今期比+10.5㊦）

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲24.0（前期比▲28.1㊦）

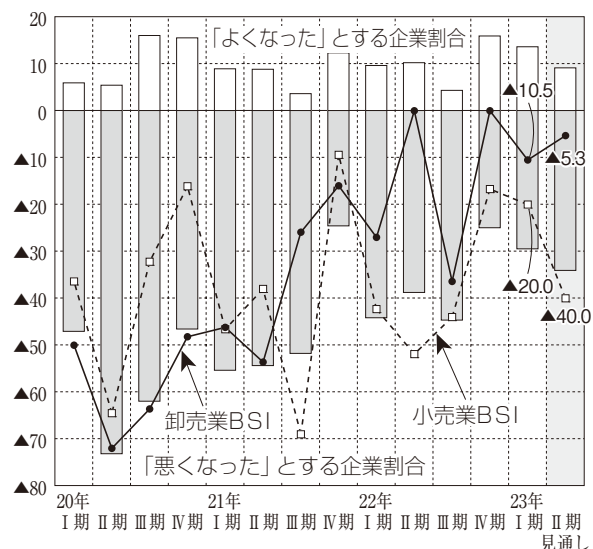
収益BSI：▲36.0（前期比▲31.8㊦）

【来期】

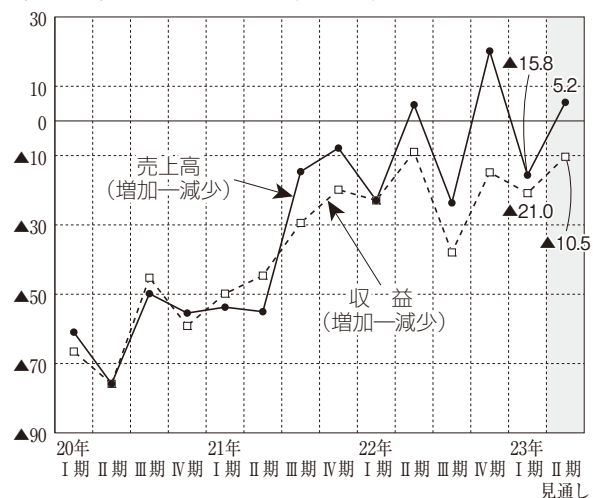
売上高BSI：▲44.0（今期比▲20.0㊦）

収益BSI：▲44.0（今期比▲8.0㊦）

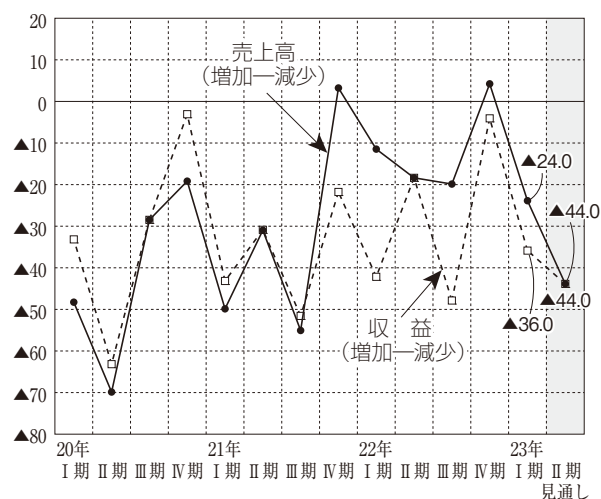
業況判断（BSI）



【卸売業】売上高と収益（BSI）



【小売業】売上高と収益（BSI）



前期とほぼ同水準

◎業況判断

【今期】(2023年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲8.0（前期比▲0.3㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 8.0%（前期比+0.3㊦）
- ・悪くなった 16.0%（前期比+0.6㊦）
- ・変わらない 76.0%（前期比▲0.9㊦）

「よくなった」「悪くなった」との回答割合はともに前期と同程度となり、今期の業況判断BSIは前期並みの水準となった。経営上の課題としては、人手不足と仕入高騰の割合がともに上昇し、約6割の企業がいずれかの課題を挙げた。

【来期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲52.0（今期比▲44.0㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 4.0%（今期比▲4.0㊦）
- ・悪くなる 56.0%（今期比+40.0㊦）
- ・変わらない 40.0%（今期比▲36.0㊦）

来期の業況判断BSIは今期比で大幅に悪化する見通しである。資材価格の高騰や統一地方選挙の影響などから工事の受注減を見込む事業者が多くみられた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲12.0（前期比▲4.3㊦）

収益BSI：▲12.0（前期比+7.2㊦）

【来期】

売上高BSI：▲36.0（今期比▲24.0㊦）

収益BSI：▲48.0（今期比▲36.0㊦）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲4.0（前期比+7.5㊦）

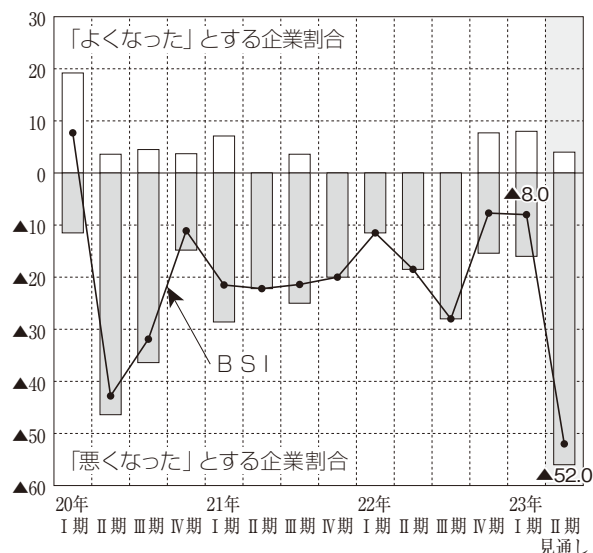
雇用者数の現状BSI：▲76.0（前期比+0.9㊦）

【来期】

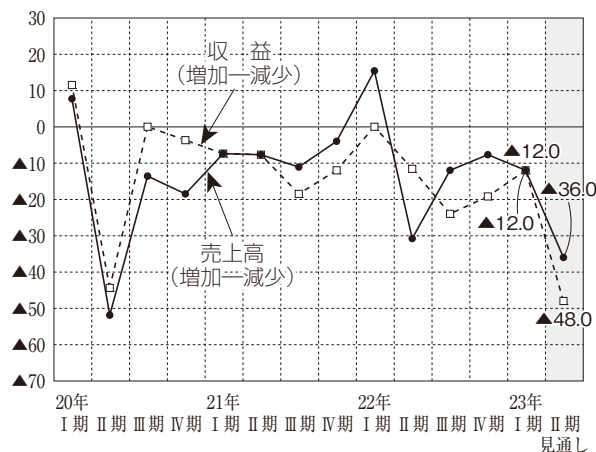
所定外労働時間BSI：▲24.0（今期比▲20.0㊦）

雇用者数の現状BSIは前期に続き大幅なマイナス水準となった。来期は売上高BSIの悪化に伴い、所定外労働時間BSIも大きく低下する見通し。

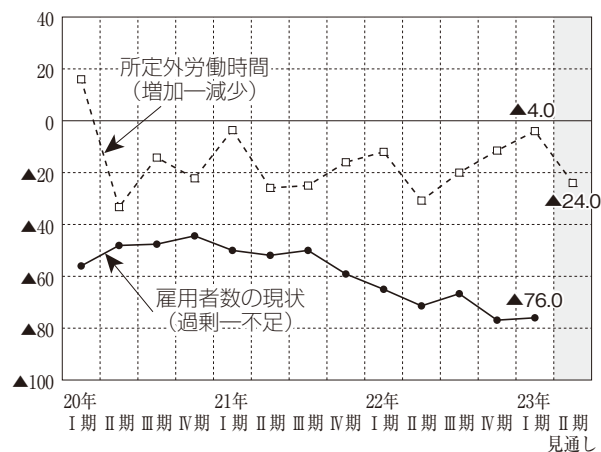
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



4期ぶりのマイナス水準

◎業況判断

【今期】(2023年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲ 3.0 (前期比▲21.2ポイント)

<内訳>

- ・ よくなった 15.2% (前期比▲12.1ポイント)
- ・ 悪くなった 18.2% (前期比+ 9.1ポイント)
- ・ 変わらない 66.7% (前期比+ 3.1ポイント)

プラス水準となった前期から「変わらない」とする企業が大半を占めている一方で、一部の企業では仕入価格や光熱費の高騰により業況が悪化しており、全体では4期ぶりにマイナス水準となった。

サービス業のうち観光関連の16社では、「よくなった」と回答した企業は前期比28.7ポイント減の31.3%、「悪くなった」と回答した企業は6.3ポイント増の6.3%だった。

観光関連以外の17社では、「よくなった」と回答した企業はなく、「悪くなった」と回答した企業は29.4%だった。

【来期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲ 6.0 (今期比▲ 3.0ポイント)

<内訳>

- ・ よくなる 15.2% (今期比± 0.0ポイント)
- ・ 悪くなる 21.2% (今期比+ 3.0ポイント)
- ・ 変わらない 63.6% (今期比▲ 3.1ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 3.0 (前期比▲21.1ポイント)

収益BSI：▲ 3.0 (前期比▲27.2ポイント)

【来期】

売上高BSI：+ 6.0 (今期比+ 9.0ポイント)

収益BSI：▲ 6.1 (今期比▲ 3.1ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

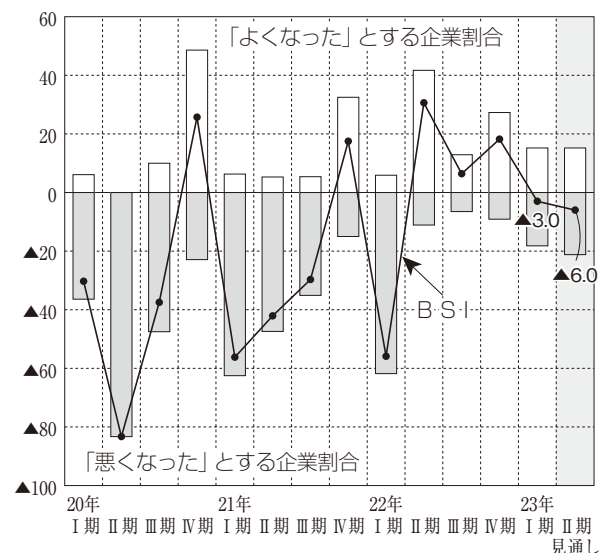
所定外労働時間BSI：▲ 6.1 (前期比▲15.2ポイント)

雇用者数の現状BSI：▲48.5 (前期比▲ 0.1ポイント)

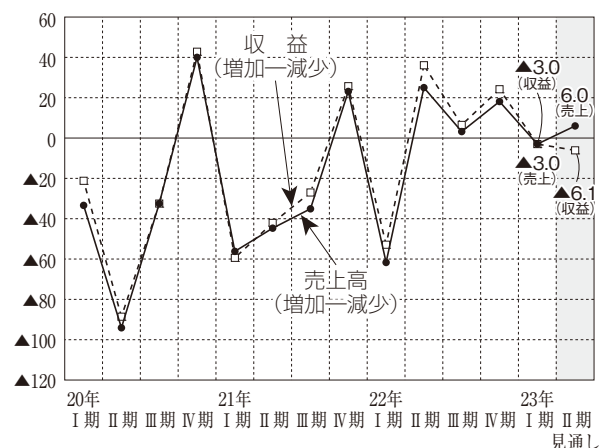
【来期】

所定外労働時間BSI：+12.2 (今期比+18.3ポイント)

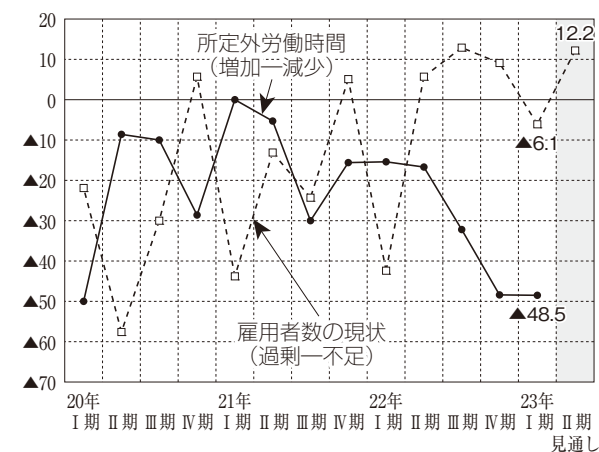
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = \frac{〔よくなる〕}{〔よくなる〕 + 〔悪くなる〕} \times 100$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。		
◎調査時点	2023年2月20日	
◎調査の内容	・ 自社の景況の実績と見通し ・ 売上高と収益の実績と見通し ・ 設備投資実施割合 ・ 経営上の問題点など	
◎調査対象	・ 県内に本社または出先事業所を有する企業422社	
◎回答企業数	178社	
・ 回答率	42.2%	
・ 規模別割合		
	資本金1千万円未満・個人	6.7%
	資本金1千万円～1億円未満	62.9%
	資本金1億円以上	14.0%
	無回答	16.3%